

2019 年度県内新入社員の「入社半年後の意識調査」

企業との認識のズレ大きく

入社半年後の新入社員の意識と採用した側の企業の考えを比較したところ、そこから見えてきたものは・・・

調査では栃木県内の 2 割の企業ですでに新入社員が退社しており、昨年度と比べると退職率はわずかに上昇していることがわかった。中には新入社員の半数以上が辞めてしまった企業もあり、企業によって差が出ている。

「(今の会社で) 定年まで働きたい」と答えた新入社員は入社時には 5 割を超えていたが、半年後の秋には 3 割超まで激減。過半数が転職を考えており、その半数近くが 5 年以内の転職を考えている。新入社員が転職したい理由は「自己の成長のため」だが、企業側は人間関係や仕事の不一致が原因と捉えており、この認識のズレは昨年度と変わらない。新入社員は残業の多さや仕事の忙しさは想像以上であったものの、6 割が「やりがいがある」と答えており現状にはおおむね満足している様子。転職を考える理由は現状への不満というより将来の働き方への不安などからで、キャリアアップとして転職を考えている姿が窺える。企業側には職場全体の処遇の改善、若手社員への成長につながるキャリアパスの提示などが求められている。

来春(2020 年度)の採用については、3 割近くの企業が採用を増やす計画にも関わらず、採用状況については 4 割の企業で「例年より悪い」と回答している。

<調査概要> 新入社員向け「入社半年後の意識調査」(以下新入社員調査)

- 調査期間 : 2019 年 10 月 1 日～11 日
- 調査対象 : あしぎん新入社員フォローセミナー受講生、新入社員向け出張研修受講生
(セミナー開催回数 栃木県 4 回、出張研修 2 回)
- 調査方法 : セミナーにてアンケート方式
- 有効回答数 : 263 名 (回答率 100.0%)

内 訳	男 性	女 性	合 計
有効回答数	135	128	263
回 答 率	51.3%	48.7%	100.0%

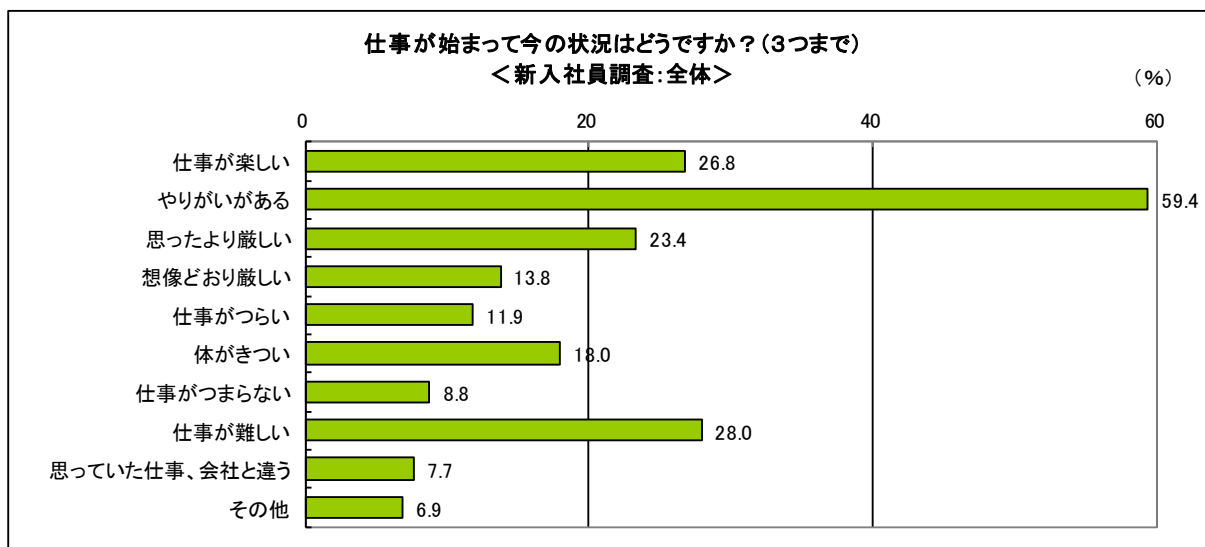
<調査概要> 企業向け「新入社員及び採用に関するアンケート調査」(以下企業調査)

- 調査期間 : 2019 年 8 月下旬～10 月上旬
- 調査対象 : 2019 年あしぎん新入社員セミナー及び 2019 年同フォローセミナー受講企業
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 有効回答数 : 53 社 (回答率 33.8%)

内 訳	建 設 業	製 造 業	サービ ス業	卸 売・小 売業	そ の 他	全 体
有効回答数	12	10	10	8	13	53
回 答 率	22.6%	18.9%	18.9%	15.1%	24.5%	100%

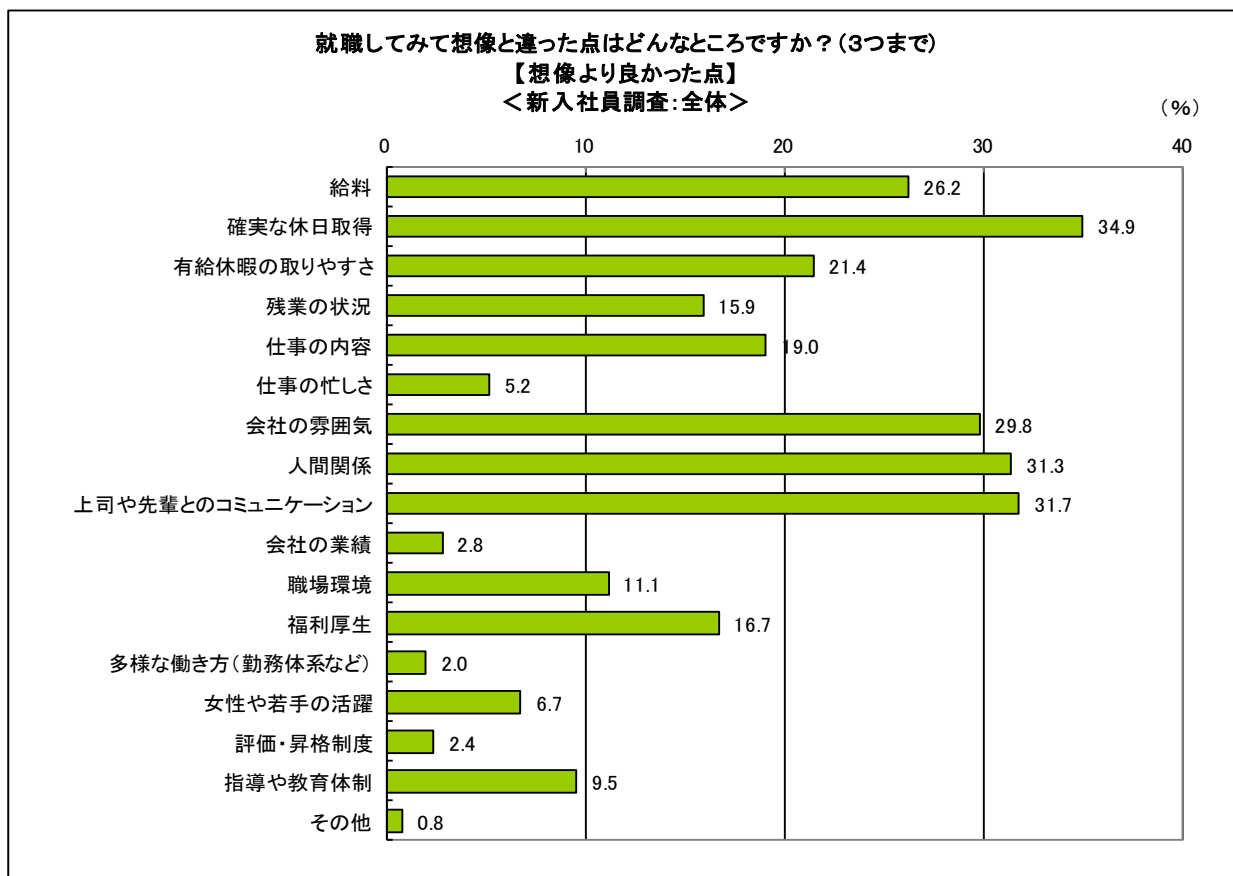
1. 仕事が始まって今の状況はどうか（新入社員調査）

1位は「やりがいがある」でほぼ6割（59.4%）。続いて「仕事が難しい」（28.0%）、「仕事が楽しい」（26.8%）の順で、順調な様子が窺える。

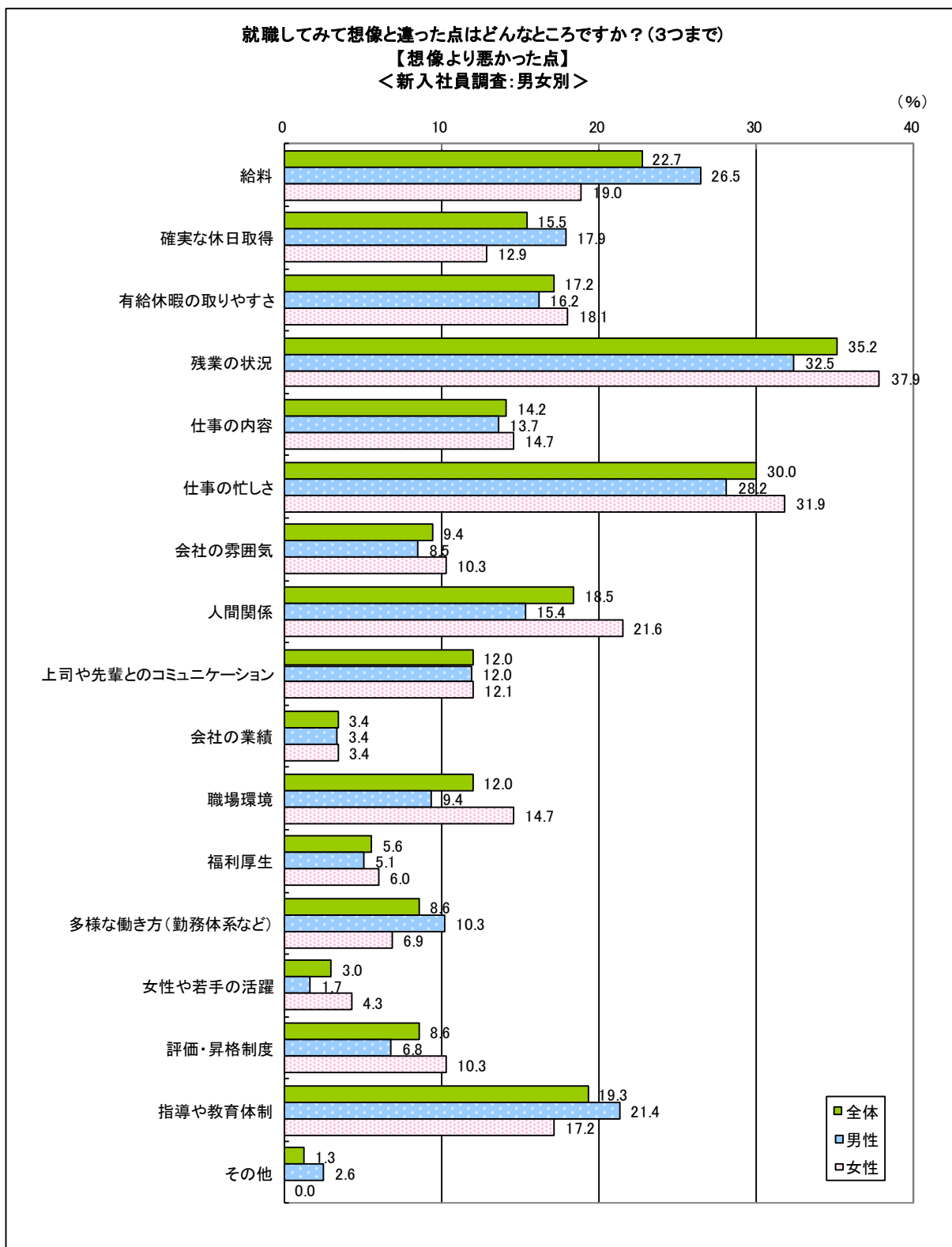


2. 就職してみても想像と違った点（新入社員調査）

<想像より良かった点> 1位は「確実な休日取得」（34.9%）、次いで「上司や先輩とのコミュニケーション」（31.7%）、「人間関係」（31.3%）、「会社の雰囲気」（29.8%）の順となった。「人間関係」（男性39.4%・女性23.2%）と「会社の雰囲気」（男性34.6%・女性24.8%）は男女差が大きく、想像より良かったと答えた男性が多い。

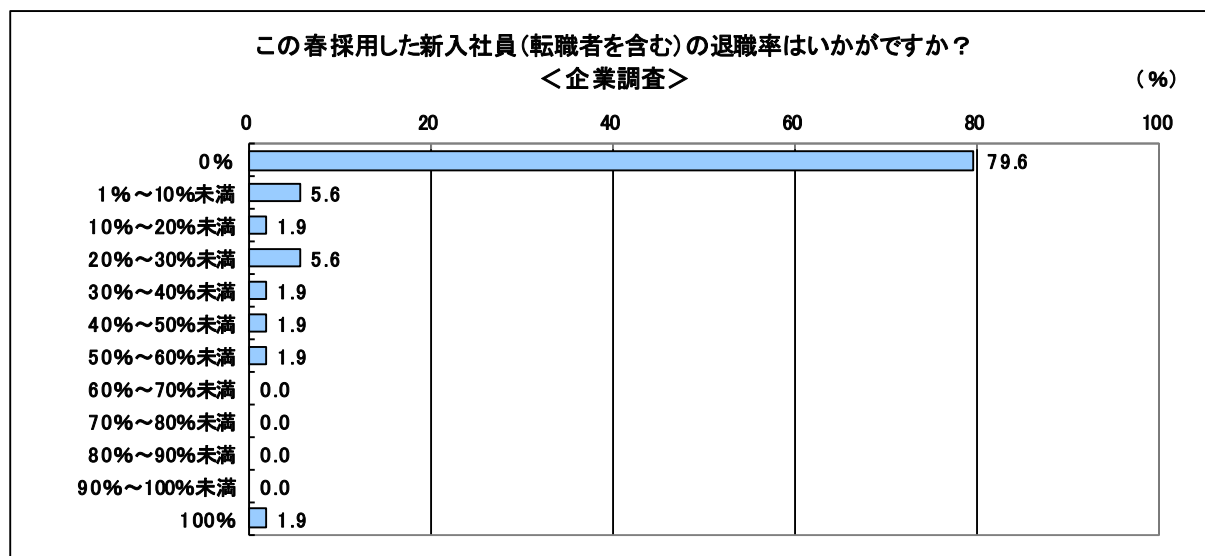


<想像より悪かった点> 1位は「残業の状況」(35.2%)、次いで「仕事の忙しさ」(30.0%)、「給料」(22.7%)、「指導や教育体制」(19.3%)の順。「残業」(2019年35.2%・2018年38.2%)及び「有給休暇」(2019年17.2%・2018年22.6%)は昨年より改善された様子。「指導や教育体制」は昨年より4.2ポイント増えた。

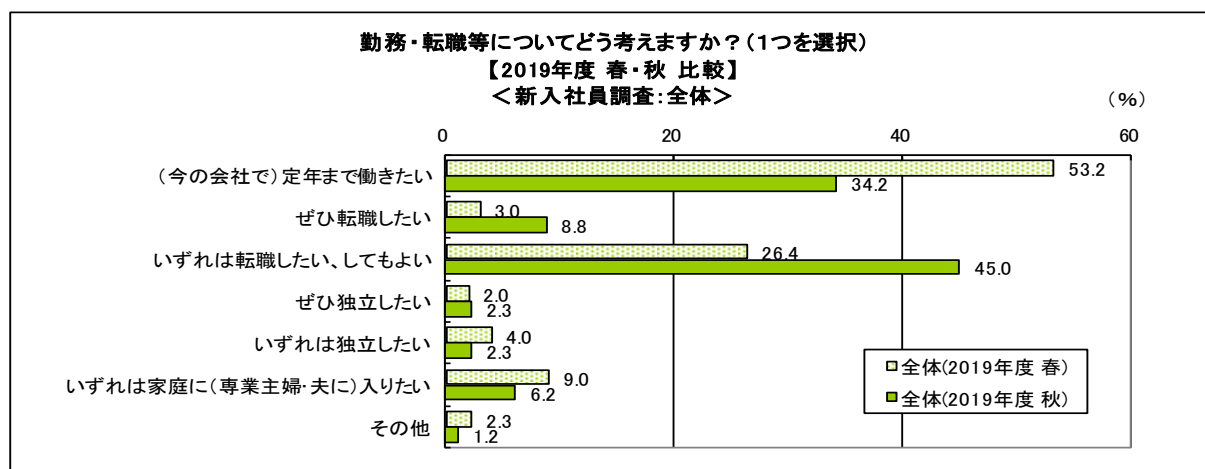


3. 転職等について

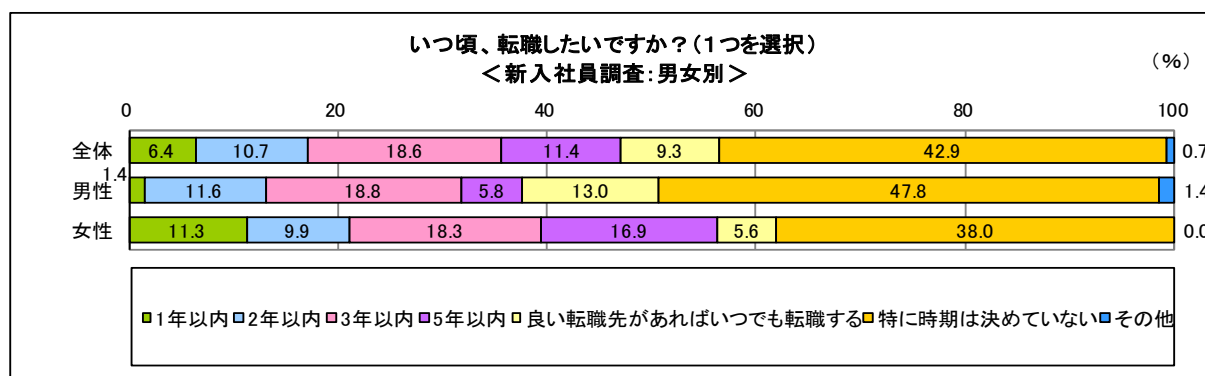
＜入社半年までの退職率＞（企業調査） 退職率については「0%」が79.6%と約8割の企業では退職者なしとなった。昨年と比べると「0%（退職者なし）」と回答した企業は3ポイント減少しており、わずかだが退職率は増えている。中には半数以上の新入社員が退社してしまったという企業もあった。



＜今後の転職等について＞（新入社員調査） 新入社員に対して今後の転職等について尋ねたところ、今の会社で「定年まで働きたい」は3割超（34.2%）となり春の調査の53.2%から激減。替わって「ぜひ転職したい」（8.8%）、「いずれは転職したい、してもよい」（45.0%）などが増え、入社半年で転職を考える新入社員が過半数の53.8%となった。



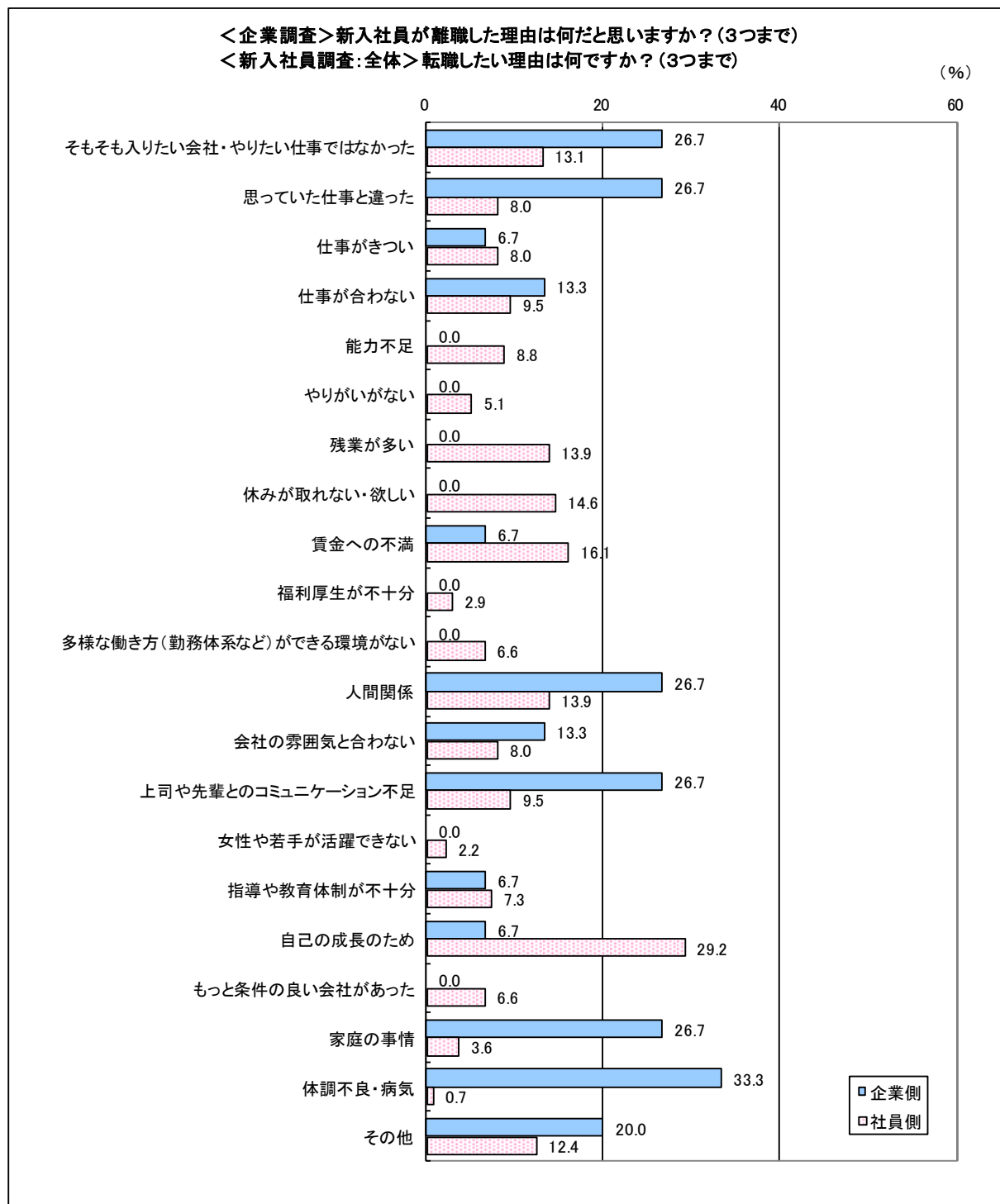
上記の質問で「ぜひ転職したい」「いずれは転職したい、してもよい」と答えた人にその時期を聞いたところ、「5年以内」までを選んだ人が計47.1%と半数近い。また、「良い転職先があればいつでも転職する」は9.3%となっている。



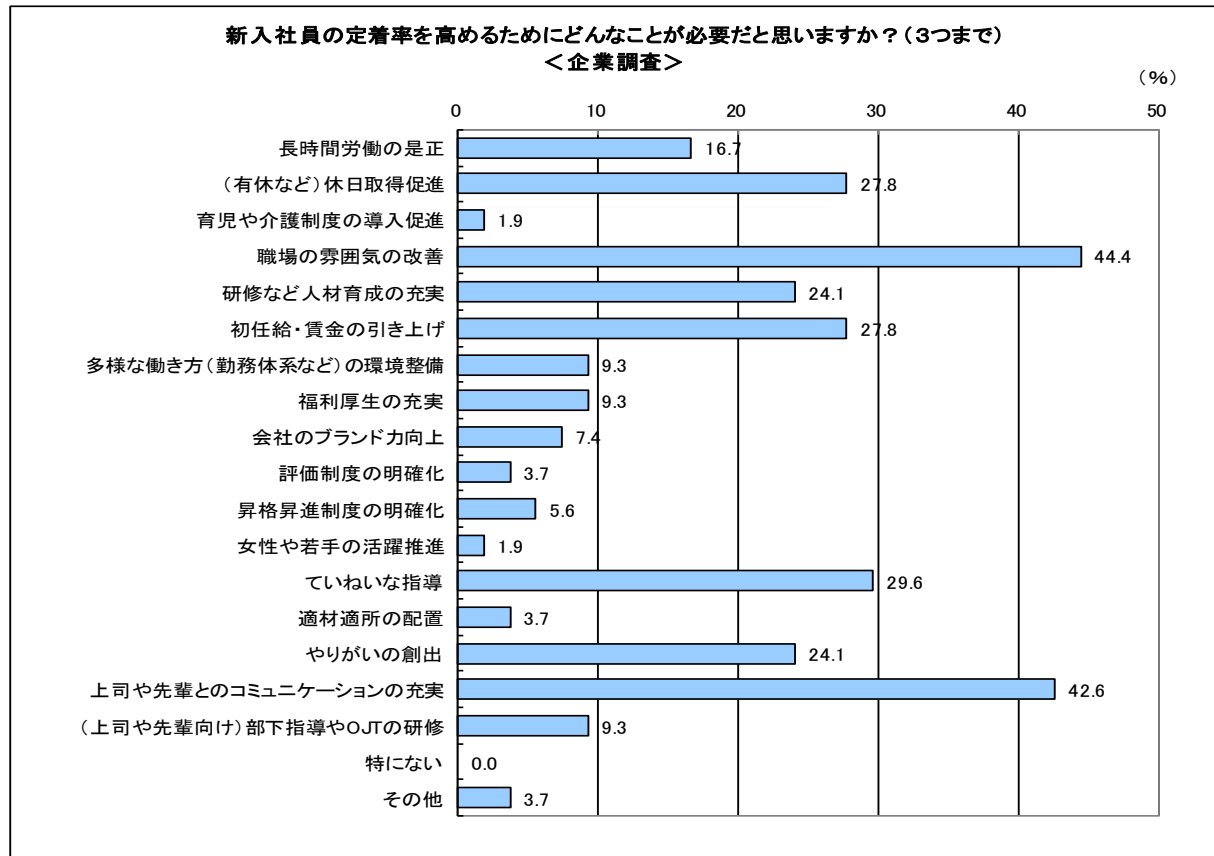
＜企業調査：離職した理由 / 新入社員調査：転職したい理由＞

企業調査では、新入社員の離職の理由1位は「体調不良・病気」(33.3%)。同率2位に「家庭の事情」「そもそも入りたい会社・やりたい仕事ではなかった」「思っていた仕事と違った」「人間関係」「上司や先輩とのコミュニケーション」(26.7%)と5項目が入り、回答が分かれた。「思っていた仕事と違った」を挙げた企業が63.2%と圧倒的に多かった昨年とは大きく傾向が変わった。

一方、新入社員調査では、今後転職したい理由に企業とは全く違う答えが挙げた。新入社員の転職したい理由1位は「自己の成長のため」で29.2%(企業6.7%)、2位「賃金への不満」16.1%(企業6.7%)、3位「休みが取れない・欲しい」14.6%(企業0.0%)、「残業が多い」13.9%(企業0.0%)となり、企業の認識との差は大きい。企業は新入社員自身の現状への不満を離職理由と考えているが、新入社員は自己の成長と将来の処遇や働き方を見据えて転職を考えていることがわかる。

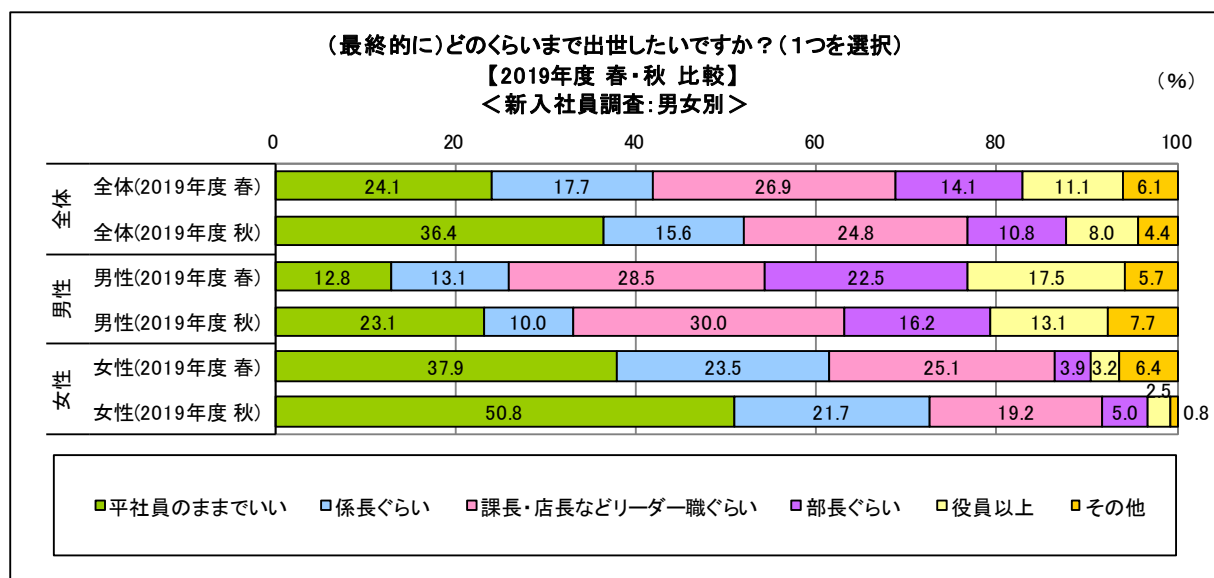


＜企業の離職防止策＞（企業調査） 新入社員が転職したい理由に「自己の成長」「賃金への不満」「休みが取れない・欲しい」「残業が多い」を挙げる中、企業が必要と考える離職防止策は「職場の雰囲気の改善」（44.4%）、「上司や先輩とのコミュニケーションの充実」（42.6%）、「ていねいな指導」（29.6%）でややズレている印象がある。新入社員が転職したい理由から考えると「研修など人材育成の充実」（24.1%）、「初任給・賃金の引き上げ」（27.8%）、「（有休など）休日取得促進」（27.8%）、「長時間労働の是正」（16.7%）について対策を検討する必要があるようだ。



4. 出世について（新入社員調査）

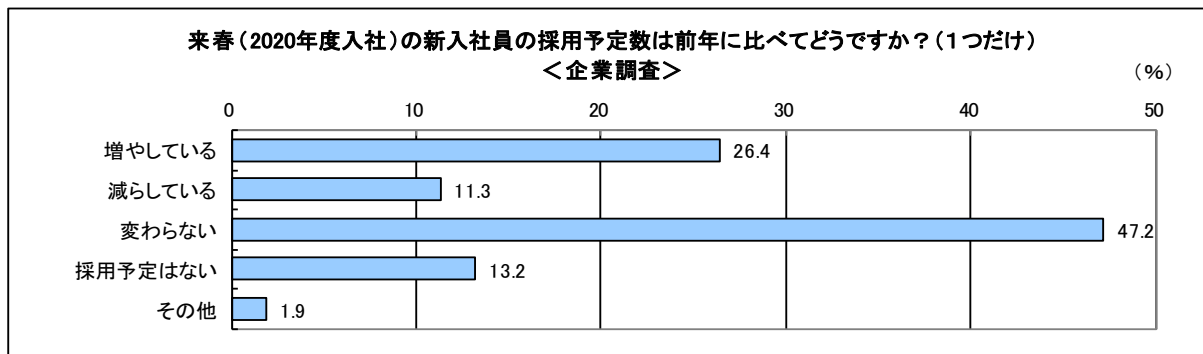
入社時と入社後半年が経過した 10 月の時点で比較すると、全体では「平社員のままでいい」（24.1%→36.4%）が増え、逆に上位職である「係長ぐらい」「課長・店長などリーダー職ぐらい」「部長ぐらい」「役員以上」が減る結果となった。特に女性は「平社員のままでいい」が 37.9% から 50.8% に大きく増え、半数が出世を望んでいない。



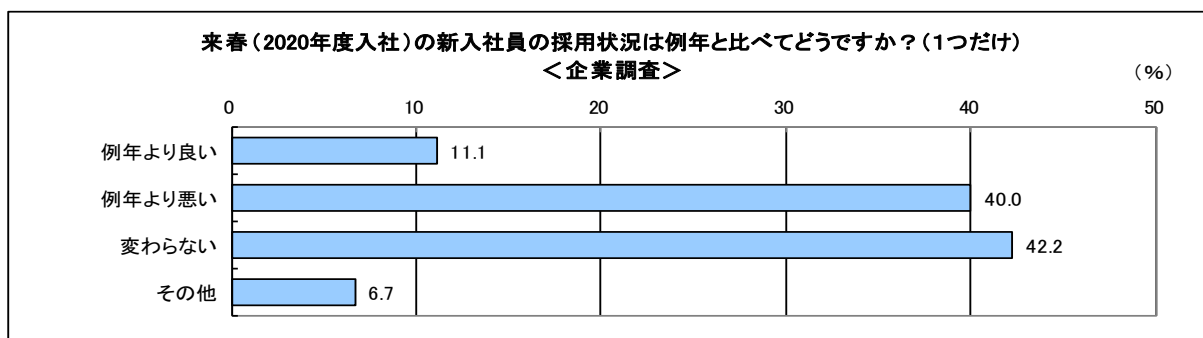
5. 企業の採用状況（企業調査）

3割近くの企業が2020年度の新入社員の採用を増やす計画にも関わらず、採用状況は「例年より悪い」が約4割（40.0%）の回答となった。企業側からは「地域間の格差が大きい」（建設業）、「各企業とも採用内定を出す時期がとても早く、例年通りの時期（5～6月）ではもう遅いようだった」（サービス業）」と採用の厳しさを窺わせるコメントが寄せられた。

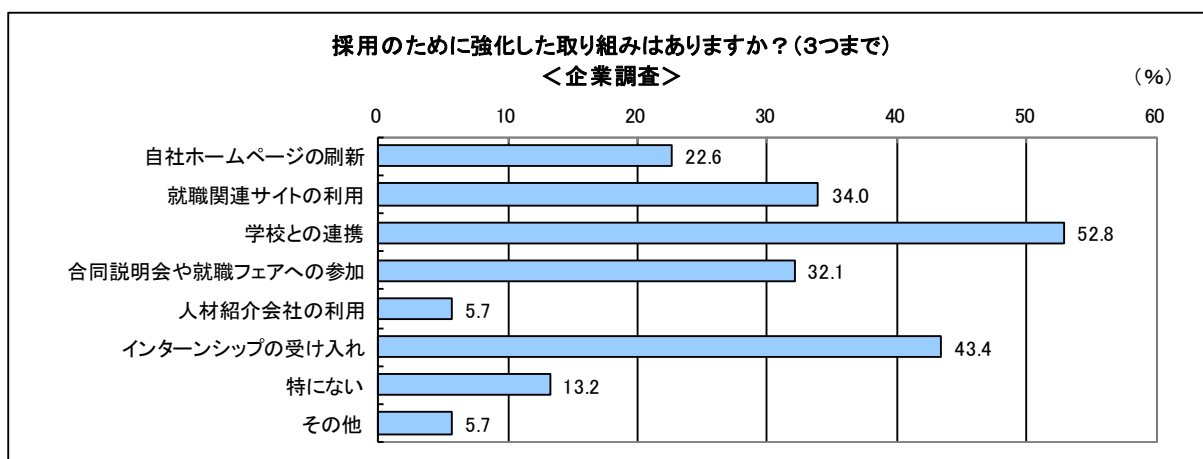
<来春の採用予定数>



<来春の採用状況>



<強化した取り組み>



以上